

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ひきこもり支援事業			事業番号	011-276
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	こころの健康センター 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④ひきこもりへの取組				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		
		有・無	指標名	ひきこもり対策の推進					
		有	取組	ひきこもり対策の推進					
		有・無	指標名	—		目標値	—		
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画		第4次堺市地域福祉計画						
3	事業開始年度		令和 2 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条（精神保健福祉センターの設置）						

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		出先機関								
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		ひきこもりの状態にある40歳以上の本人とその家族 ひきこもり者と関わる可能性のある地域の支援者、支援機関				対象数	5,300		単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		地域にひきこもりの支援機関があることを市民が認知し、ひきこもりの問題で悩んだときに、安心して相談機関を利用でき、ひきこもりからの回復をめざす。								
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		<p>精神保健福祉法第六条に基づき、事業を実施。</p> <p>1. 専門相談事業（ひきこもり相談）</p> <p>①ひきこもりに悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施</p> <p>②本人グループワーク、家族教室の実施</p> <p>2. 地域関係機関への技術指導、教育研修</p> <p>ひきこもりに関わる支援者に対し、研修を実施し、ひきこもりに対する知識を深める機会を提供する。</p>								
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）										
10	公民連携・協働事業										

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績		目標	目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度	
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数		回	目標値	500	500	500	500
				実績値	571	573		
			達成率	114%	115%			
当該指標を選定した理由		ひきこもり支援において、まず支援の場、機会、窓口を十分に提供していくことが最重要であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		市民及び関係機関に対して実施したひきこもり支援の利用者実数、研修などの技術支援の回数。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数		人	目標値	4,000	4,000	4,000	
				実績値	4,424	4,629		
			達成率	111%	116%			
当該指標を選定した理由		市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		市民及び関係機関に対して実施したひきこもり支援、研修などの技術支援の利用回数（延人数）の合計。						

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ひきこもり支援事業	事業番号	011-276
-------	-----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	14,756	15,547	16,521	15,269	16,462
13 財源内訳					
国支出金	7,371	7,898	8,240	7,626	8,203
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ( )			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	7,385	7,649	8,281	7,643	8,259
14 人件費 (b)	8,200	20,500	20,500	20,500	20,250
15 年間経費(c)=(a)+(b)	22,956	36,047	37,021	35,769	36,712

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R4	決算	11,273	5,637			R4	決算	138	70	
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R5	予算	11,346	5,674	消耗品費	R5	予算	300	150	
		R4	決算	308	154		その他保険料	R4	決算	83	42
特別職非常勤職員報酬	R5	予算	672	336	通信運搬費	R5		予算	95	48	
	R4	決算	2,378	1,190		その他使用料及び賃借料	R4	決算	10	5	
期末手当(会計年度任用職員)	R5	予算	2,393	1,197	その他(研修会等参加負担金等)		R5	予算	16	9	
	R4	決算	565	283		R4	決算	1	1		
謝礼金	R5	予算	886	446	R5		予算	5	3		
	R4	決算	467	234		R4	決算	46	27		
費用弁償(通勤費)	R5	予算	624	312	R5		予算	125	84		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	571	573
② 上記①にかかる年間経費	千円	36,047	35,769
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	63,130	62,424
備考(算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施しながらも、個別相談や少人数でのグループワークなど、工夫して実施した結果、活動指標である利用者数は前年増となった。ひきこもり支援は、長期に渡る支援であるため、活動指標が維持できていることは、利用が継続されていると評価できる。</p> <p>成果指標は、目標値を超えており、前年度と同等である。実態調査等から、ひきこもり支援を必要とする対象者は多く潜在しており、目標値以上に達成されたことは、支援機関の周知が進み、市民の暮らしを支えるセーフティネットの構築に寄与したと考える。</p>
----	--

#### KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延状況が続き、ステイホーム(外部との交流を減らす)という社会情勢の中、ひきこもり状態にある者には、より相談などを利用することが難しい状況と思われたが、成果指標、活動指標ともに前年度と同等以上の結果となっている。</p> <p>ひきこもりに関する報道等により社会での認知度が上がったことや、ひきこもり支援の研修、相談窓口の周知などの様々な取組が、利用者数の増加につながっており、ひきこもり支援が暮らしを支えるセーフティネットの構築に寄与している。</p>
----	--